

松山ケンイチさんら 日福大訪れ特別授業

介護題材映画公開前に

介護問題をテーマとした映画「ロストケア」が二十四日から全国上映されるのに先立ち、日本福祉大美浜キャンパス(美浜町奥田)で十七日、出演する俳優の松山ケンイチさん(三〇)と長沢まさみさん(三三)、鈴鹿央士さん(二二)らを招いた座談会形式の特別公開授業が行われた。出演者らは、学生約二百二十人を前に映画への思いを語った。

映画は作家、葉真中顕さんの小説が原作。高齢者四十二人の命を奪った介護士を演じる松山さんと事件を追及する検事役の長沢さんのやりとりを通じ、高齢者の孤立や介護者が抱える苦

悩について問題提起する。

松山さんは、殺人犯役を演じるにあたり、「皆さんと同じく、異常さがないという部分を意識した」と述べた。長沢さんは「(映画と)同じような事件が年々増え、とても難しい問題だ

と思った」と話した。鈴鹿さんは「この映画が介護について考えるきっかけになれば」と呼びかけた。

このほか、葉真中さん、監督の前田哲さん(五〇)も登壇した。同大の湯原悦子教授(司法福祉論)が映画の推薦コメントを執筆したことが縁で、今回の特別授業が実現した。